

岡山労災病院における石綿関連疾患及びじん肺症例 又はその合併症に係る標本試料の活用について

令和7年4月1日

一部改訂 令和8年4月1日

一部改訂 令和8年7月15日

【研究の背景】

職業性肺疾患は、労働作業中に有害な粉じんや環境汚染物質などを吸入する事で生じる呼吸器疾患の総称です。じん肺は「粉じんを吸入する事で肺に生じた線維増殖性変化を主体とする疾病」と定義される職業性肺疾患の1種であり、珪肺等に代表されるように進行性肺線維化巣を誘発する粉じんが多数知られています。加えて近年ナノマテリアル等新素材の開発が加速しており、有害性が懸念される新規化学物質は急速に増加しています。また、無機粉じんのみならずアクリル酸系ポリマーといった有機粉じんを吸い込むことで呼吸器疾患が生じる労働災害が近年日本で発生しており、大きな問題となっています。さらに、じん肺は原発性肺癌等を合併する事も重要視されており、じん肺リスクの可能性のある粒子状物質の有害性影響評価を適切に行うことは喫緊の課題です。

(研究課題名)「先進医学解析技術を用いた職業性肺疾患の基盤的研究」

研究代表者 (独法)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 山野荘太郎

研究分担者 同

アスベスト疾患研究・研修センター 所長代理 宮本洋輔

【研究の目的と方法】

本研究は化学物質により誘発される職業性肺疾患について、岡山労災病院(院長 伊達 勲)で採取し保存されている肺組織を使い、組織内の各細胞の遺伝子発現と細胞の位置情報を同時に取得する手法による解析(空間オミクス解析)による、包括的データベース(統合空間アトラス)構築及び病気の発生メカニズムの理解(疾患機序解明)/バイオマーカー開発等に資する基盤的研究を実施し、1細胞解像度により職業性肺疾患の発症-病気の進行メカニズム(進展機序)を理解することを目的としています。そこで、

石綿関連疾患及びじん肺症例又はその合併症の方から採取した肺組織の一部

を本研究に利用させていただきます。試料は氏名を特定できないように記号等に置き換えて(これを「匿名化」といいます。)個人としての情報がわからなくなるようにしてから解析を行います。解析にあたり、遺伝子配列情報の解読を外部の受託機関に委託分析をお願いすることがあります。

・対象となる方

職業性肺疾患の診断を受けた上で、平成27年4月から令和11年3月までに生検、手術又は剖検を受けた患者さんであって、肺組織及び胸膜組織のRNAの状態が解析が可能な状態である患者さん

・研究期間 令和7年4月1日～令和11年3月31日

・利用する標本試料や情報 生検や手術、剖検の際に採取し保管している、肺組織の一部、診療情報

【倫理的配慮と研究成果の活用】

本研究は労働者健康安全機構本部の研究倫理審査委員会によって審査承認され(承認番号 JOHASERB202503)、労働者健康安全機構により実施が許可されています。あなたの情報は、氏名・住所等・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたにも分からないようにいたします。また、試料は労働安全衛生総合研究所の保管庫により厳重に管理し、本研究で使用する試料や成果は研究目的以外には使用されることはありません。その上で、氏名の情報を含めずに研究成果は、インターネット、雑誌、学術集会、学術専門誌等

に公表させていただきます。

なお、この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また、個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。

【研究組織】

本研究は多施設共同研究であり、以下の研究者が共同で解析します。

●研究代表者

(独法)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 山野 荘太郎

●研究分担者

(独法)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 梅田 ゆみ

(独法)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 齋藤 美佐江

(独法)労働者健康安全機構 アスベスト疾患研究・研修センター 宮本 洋輔

●研究協力者

東京理科大学創域情報学部 情報理工学科 七野 成之

秋田大学大学院医学研究科病態制御医学系 定量病理学講座 後藤 明輝

【本研究についてのお問合せ・本研究への標本試料の使用をご了承されない場合】

**ご本人、ご家族の標本試料や診療情報が本研究に使われる可能性があり、
使用をご了承されない場合には、以下まで遠慮なくお申し出下さい。**

該当する試料、情報の使用を全て中止いたします(研究期間終了までにお申し出ください)。なお、このような申し出をされても、何らご自身が不利な取扱いを受けることはありません。また、ご不明な点等がございました場合でもご遠慮なく以下の連絡先までお問い合わせ下さい。なお、ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

何卒、よろしくお願い申し上げます。

また、研究対象者となりえる方やご家族で本研究の研究計画書および研究の方法に関する資料(他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護に支障のない範囲内に限られます)の閲覧を希望される場合、個人情報保護法に基づく開示・訂正・利用停止請求を希望される場合(開示請求には300円の手数料が必要です)は以下の連絡先までご連絡ください。

連絡先 〒702-8055 岡山県岡山市南区築港緑町1丁目10番25号
(独法)労働者健康安全機構 アスベスト疾患研究・研修センター
所長代理 宮本 洋輔
電話: 086-283-0055 FAX: 086-280-2828

連絡先 〒211-0021 神奈川県川崎市中原区木月住吉町1番1号
(独法)労働者健康安全機構 研究試験企画調整部
研究試験支援普及課
電話: 044-431-8672 FAX: 044-411-5560

・改訂履歴

年月日	改訂項目	改訂内容
第1回改訂 令和8年4月1日	対象者の変更	・試料を提供していただく対象者を修正。併せて、本研究への標本試料の使用を了承しない場合の期間を修正。
	承認番号、連絡先の変更	・倫理審査委員会の通知番号の記載を承認番号に変更すると共に、連絡先を修正。
第2回改訂 令和8年7月15日	表現の修正	・これまで、石綿肺がんのみ別だししていたため、表現を患者さんにわかりやすい具体的な表現に変更。
	研究組織の修正	・研究者の所属の変更及び研究組織から、本研究班に所属していない研究者を削除。
	誤植の修正	・軽微な誤植を修正。